

エコキングにご協力いただいた皆様へ

令和2年 3月

日野市環境基本計画推進会議CO₂グループ

令和元年度「**エコキング冬**」アンケートの実施（12月7日実施）に際し、ご協力ありがとうございました。アンケートの集計結果がまとまりましたので、ご報告申し上げます。

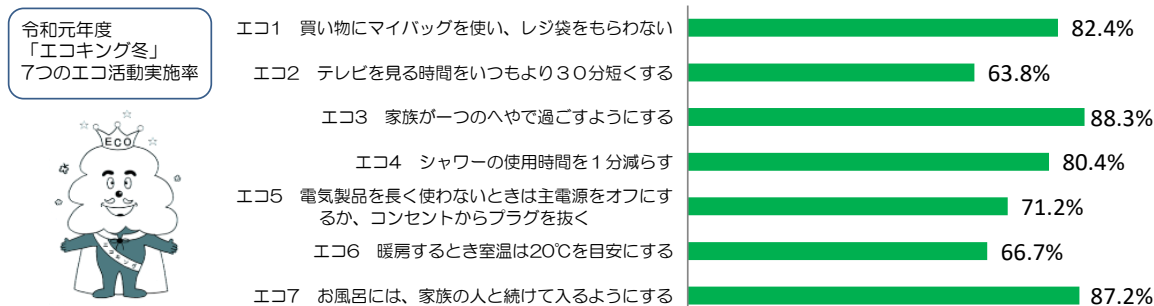
<集計結果の概要>

○アンケートの回収状況は、

令和元年5月1日現在の市内小学校の児童数9,326人に対し、アンケート回収数は全学校計で**6,588票**、回収率は**70.6%**でした。前回（平成30年度）の冬に比べ7%ほど低くなりました。回収数の内訳を低／高学年別でみますと、低学年は3,281票、回収率70.3%、高学年は3,307票、回収率71.0%でした。

●アンケートで答えていただいた「7つのエコ活動」の実施率は、

- ・全学校計でエコ活動の実施率が最も高かったのはエコ3「家族が一つのへやで過ごすようにする」で88.3%、次いでエコ7「お風呂には、家族の人と続けて入るようにする」が87.2%で続きます。最も低かったのはエコ2「テレビを見る時間をいつもより30分短くする」で63.8%でした。
- また、エコ1「買い物にマイバッグを使い、レジ袋を使わない」は平成30年度夏に初めて80%を超え、その後毎回実施率が増加し、今回は82.4%と過去最高となりました。



- ・低／高学年別にみると、低学年ではエコ3「家族が一つのへやで過ごすようにする」が90.6%で最も高く、エコ2「テレビを見る時間をいつもより30分短くする」が最も低く63.7%でした。高学年は最も高いのはエコ3「家族が一つのへやで過ごすようにする」で85.9%、最も低かったのはエコ2「テレビを見る時間をいつもより30分短くする」で63.8%でした。

●「7つのエコ活動」で削減されたCO₂の総量は、

12月7日の1日間で削減されたCO₂の総量は全学校計で**2,514,141g**で、テニスコート約**10.1**面分の森林が1年間に吸収するCO₂の量に相当します。したがって、1年間続ければこの365日分で、テニスコート約**3,671**面分の森林が1年間に吸収するCO₂が削減されることになります。

*テニスコート1面（約500㎡）当たりの森林が1年間に吸収するCO₂の量250kgで換算

●自由回答で見られた「ユニーク」「なるほど」という回答をみると、

地産地消を心がける 鍋物多くする 炊飯器を圧力鍋にした ごはんをみんなで一緒に食べた
クリスマスツリーの灯りを消した 給湯温度を1度下げた 髪洗ったらタオルでよく拭いてドライヤー
鉛筆は電動でなくハンドル式で削る アイドリングストップをした 割箸やストロー使わない
マイ水筒を持って外出 ほうきで掃除 昭和の生活を心がける などですが、
「全部〇がつくよう頑張った」「家の人にエコキングを知らせた」「ママにエコバッグ持っていきよう声かけた」
など子供たちの記述もあり、エコキングが**家庭での省エネの動機づけ**になっている様子もうかがえます。

以上が、令和元年度「エコキング冬」アンケートのまとめです。
続いて、同時に実施した「温暖化に関するアンケート」のまとめもご覧ください

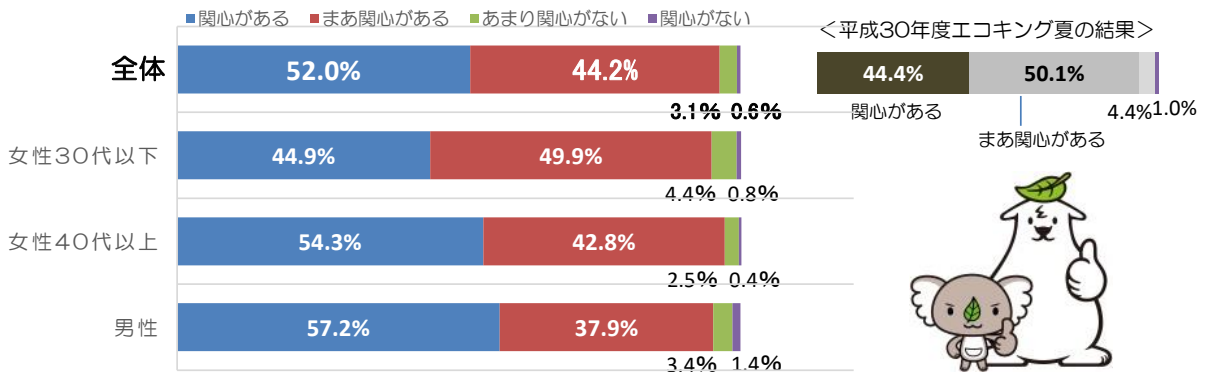
次に、令和元年度「エコキング冬」アンケート（12月7日実施）の際に保護者の皆様にご協力いただいた「地球温暖化についてのアンケート」の集計結果についてご報告します。

今回のアンケートでは地球温暖化問題についての関心度合や、地球温暖化を防ぐための対策の中で有効と思われる対策についてお聞きしました。温暖化問題についての関心度合は1年半前に実施した平成30年度夏のエコキングでもお聞きしています。今回はそのときの結果との比較もしました。

アンケートの回答者は全体で2,648名でした。

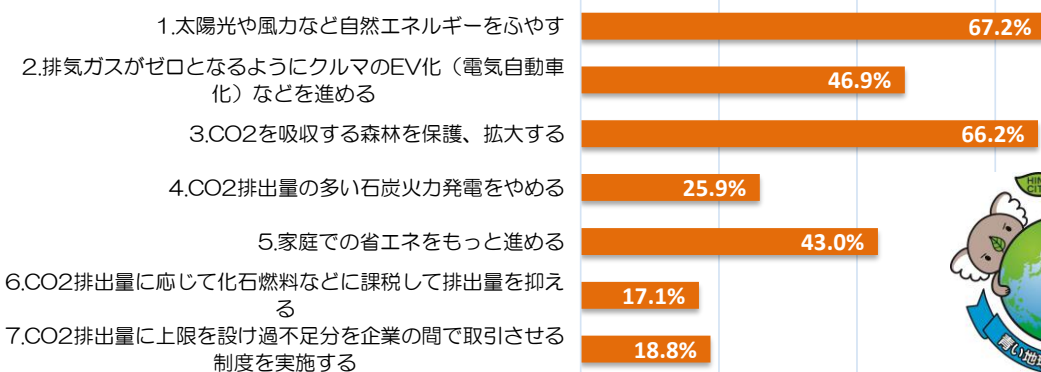
（内訳）女性30代以下：722名 女性40代以上：1,636名 男性：290名

Q1 あなたは地球温暖化問題について関心がありますか？



- 全体では「関心がある」と「まあ関心がある」あわせて96.2%と、ほとんどの人が温暖化問題に関心を持っています。関心度の強さをみると「関心がある」が52.0%、「まあ関心がある」が44.2%となっており、1年半前の平成30年度の夏と比べ「関心がある」が7.8ポイント増え、「まあ関心がある」が5.9ポイント減りました。2018年の猛暑や2019年の台風による大雨被害などを経験して温暖化問題への関心度合がより強まったといえそうです。
- 層別でも「関心がある」の比率が、平成30年度の夏と比べ女性30代以下で4.7ポイント、女性40代以上で7.7ポイント、男性で11.0ポイントそれぞれ増えています。

Q2 地球温暖化を防ぐための対策の中で、あなたが有効度が高いと思われる対策を3つ選んで番号に○をつけてください。



- 有効度が高いと評価された対策の全体でのトップ3は1.自然エネルギーをふやす67.2%、3.森林の保護・拡大66.2%、2.クルマのEV化46.9%でした。自然の力を生かした対策が評価されています。層別でみると、女性40代以上と男性ではトップ3は全体と同じでしたが、女性30代以下では2.クルマのEV化に替わって5.家庭での省エネが入ってきます。
- 4.石炭火力発電をやめるは全体では25.9%でしたが、男性では32.4%と女性2層平均より7%ほど高くなっています。
- 6.化石燃料などへの課税も男性が19.0%と女性2層より高くなりました。

★温暖化の大きな原因であるCO2を減らすためには、毎日の暮らしの中で「エコキング」であげたようなエコ活動を続けていくことがとても大切です。

お問い合わせ先：日野市立カワセミハウス ☎042-581-1164